

柔道競技要項

期 日	平成22年7月3日(土)・4日(日)
会 場	鈴鹿市武道館 住所：三重県鈴鹿市江島台二丁目6-1 電話：059-388-0622
審判・監督会議	9時30分
開 会 式	10時00分
閉 会 式	競技終了後

A. 競技規定

- (1) 試合は「国際柔道連盟試合審判規定」による。
- (2) 「優勢勝」の判定基準について
 - ①団体試合は、「有効」又は「指導2」以上とする。
 - ②団体戦の代表戦は、「有効」又は「指導2」以上とする。優劣を決しない場合は、ゴールデンスコア方式による延長戦を行い勝敗を決する。
 - ③個人試合は、「有効」又は「指導2」以上とする。勝負が決しない場合は、ゴールデンスコア方式による延長戦を行い勝敗を決する。
- (3) 関節技において、その効果があると認めるときは、審判員の見込みによって「一本」の判定を下すことができる。ただし、絞技においては、見込みによる判定を行わない。
- (4) 団体戦の代表戦及び個人試合において、両試合者が「累積による同時反則負け」の場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を行い勝敗を決する。
- (5) 両試合者が同時に「直接的反則負け」を受けた場合は、その試合者は大会より排除される。ただし、団体戦と個人戦は別とする。
- (6) 試合時間は、全国大会団体予選・男子個人戦とも4分とし、勝抜戦・女子個人試合は3分とする。
- (7) 出場選手は、全日本柔道連盟に登録している者とし、申し込みにあたっては、全日本柔道連盟登録ナンバーを記入すること。
- (8) 出場選手の変更については、正当な理由がある場合、所定の用紙に手続きした上で、顧問会議によって可否を決定する。

B. 競技方法

(1) 全国高専大会団体予選

- ① 試合は、5高専によるリーグ戦で行う。
- ② 各試合は、5名の選手による点取り試合方式で行い、試合ごとのオーダー変更を認める。
- ③ チーム人員は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手7名以内、計10名以内とする。
- ④ リーグ戦内のチーム対チームの勝敗は、勝本数の多いチームを勝とする。勝本数が同数の場合は、勝内容とその合計点で決定する。合計点も同じ場合は、引き分けとする。
- ⑤ リーグ戦の順位の決定は、勝数の多いチームを上位とする。勝数が同数の場合は、負数の少ないチームを上位とする。勝負同数の場合は、総得点の多いチームを上位とする。それでも勝負が決定しない場合は、代表戦によって決定する。
- ⑥ 団体試合の勝内容は、一本勝ち(総合・不戦・棄権・反則)10点、技有優勢勝8点、有効優勢勝6点、引き分け・負け0点とする。

- ⑦ オーダー用紙の提出は、試合開始10分前までに行う。試合が連続してある場合は、前の試合終了後速やかにオーダー用紙の提出を行うこと。（当該試合場の試合係は、両チームのオーダー用紙を確認してから掲示すること。）
- ⑧ 表彰は、1位に優勝杯、1位、2位、3位に賞状を授与する。
- ⑨ 優勝校は、第45回全国高等専門学校体育大会(団体の部)への出場権を得る。

(2) 男子個人の部

- ① 出場人員は、監督1名、マネージャー1名、選手は60kg級・73kg級・90kg・90kg超級の4階級に14名以内の出場とする。
- ② 試合は、体重別によるトーナメント戦とする。（トーナメント戦の組合せについては、出場人数の関係上不平等性がある場合、顧問会議で確認し再抽選を行うことができる。）
- ③ 3位決定戦は行わない。
- ④ 計量に合格しない者は、出場できない。計量は、マネージャー立会いのもと行い、所定の時間内であれば何度でも行うことができる。ただし選手の計量は1日で行うものとする。（大会初日の試合終了後の所定時間内か、個人試合当日の所定時間内のどちらかを、選手が選択できる。）
- ⑤ 前年度3位以内に入賞した選手を、シード選手とする。
- ⑥ 表彰は各階級1位、2位、3位に賞状を授与する。
- ⑦ 各階級の優勝者は、第45回全国高等専門学校体育大会(男子個人の部)への出場権を得る。

(3) 女子個人の部

- ① 階級は、48kg級・52kg級・63kg級・63kg超級の4階級とする。（但し選手自身の階級よりも1階級重いクラスに出場することができる。）
- ② 試合は、顧問会議にて出場者数を確認し、リーグ戦・トーナメント戦の試合方式を決定し、抽選を行う。
- ③ 計量に合格しない者は、出場できない。計量は、マネージャー立会いのもと行い、所定の時間内であれば何度でも行うことができる。ただし選手の計量は1日で行うものとする。（大会初日の試合終了後の所定時間内か、個人試合当日の所定時間内のどちらかを、選手が選択できる。）
- ④ 表彰は各階級1位、2位、3位に賞状を授与する。
- ⑤ 各階級の入賞者は、北陸地区の同階級入賞者との間で、東海地区・北陸地区の代表顧問間により全国大会出場の決定を行い、東海北陸地区代表として各階級3名が、第45回全国高等専門学校体育大会(女子個人の部)への出場権を得る。（前年度全国大会上位入賞者等、過去の実績を重視する。）

(4) 勝抜団体試合

- ① 出場人員は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手10名以内、計13名以内とし、全国大会「団体の部」予選に出場しない選手とする。
- ② 試合はリーグ戦とし、7名による勝抜戦で行い、試合ごとのオーダー変更を認める。
- ③ 順位の設定は、勝数の多いチームを勝とする。同勝数の場合は、負数の少ないチームを上位とする。勝数・負数が同じ場合は、残者数の多いチームを上位とする。それでも順位が決定しない場合は、代表戦を行う。
- ④ オーダー用紙の提出は、試合開始10分前までに行う。試合が連続してある場合は、前の試合終了後速やかにオーダー用紙の提出を行うこと。（当該試合場の試合係は、両チームのオーダー用紙を確認してから掲示すること。）
- ⑤ 表彰は1位、2位に賞状を授与する。